

ピースアクションinヒロシマに参加しました



毎年8月、広島・長崎両県生協連と日本生協連は、被爆体験の継承や核兵器のない世界への思いを共有する場として、ピースアクションinヒロシマ・ナガサキを開催しています。今年、とちぎコープは、親子3組6名の組合員と職員1名を広島に派遣しました。

現地ガイドの案内で、原爆の遺構や慰霊碑めぐり、本川小学校平和資料館や平和記念資料館を見学しました。また「虹のひろば」では、被爆体験者の証言を聞いたり、広島県内の高校生・大学生の平和に関する取り組みの報告を聞くことができました。6日には「平和記念式典」にも参列し、原爆が投下された8時15分に1分間の黙とうをし、原爆死没者に哀悼の意を表すとともに、恒久平和の実現を祈りました。

後日報告会を開催し、3日間の体験を通じて感じたことや学んだことを振り返りました。「修学旅行で訪れた資料館も、親となつて観ると感じ方が違い、さらに多くの衝撃、胸にせまるものがありました」。「今でも核兵器を保有している国があり、戦争で苦しんでいる人が今この瞬間にも大勢いる。解決に向けて一人にできることはほんの少ししかないけれど、私たち子どもも意識を高めていきたい」と平和への思いを新たにしました。